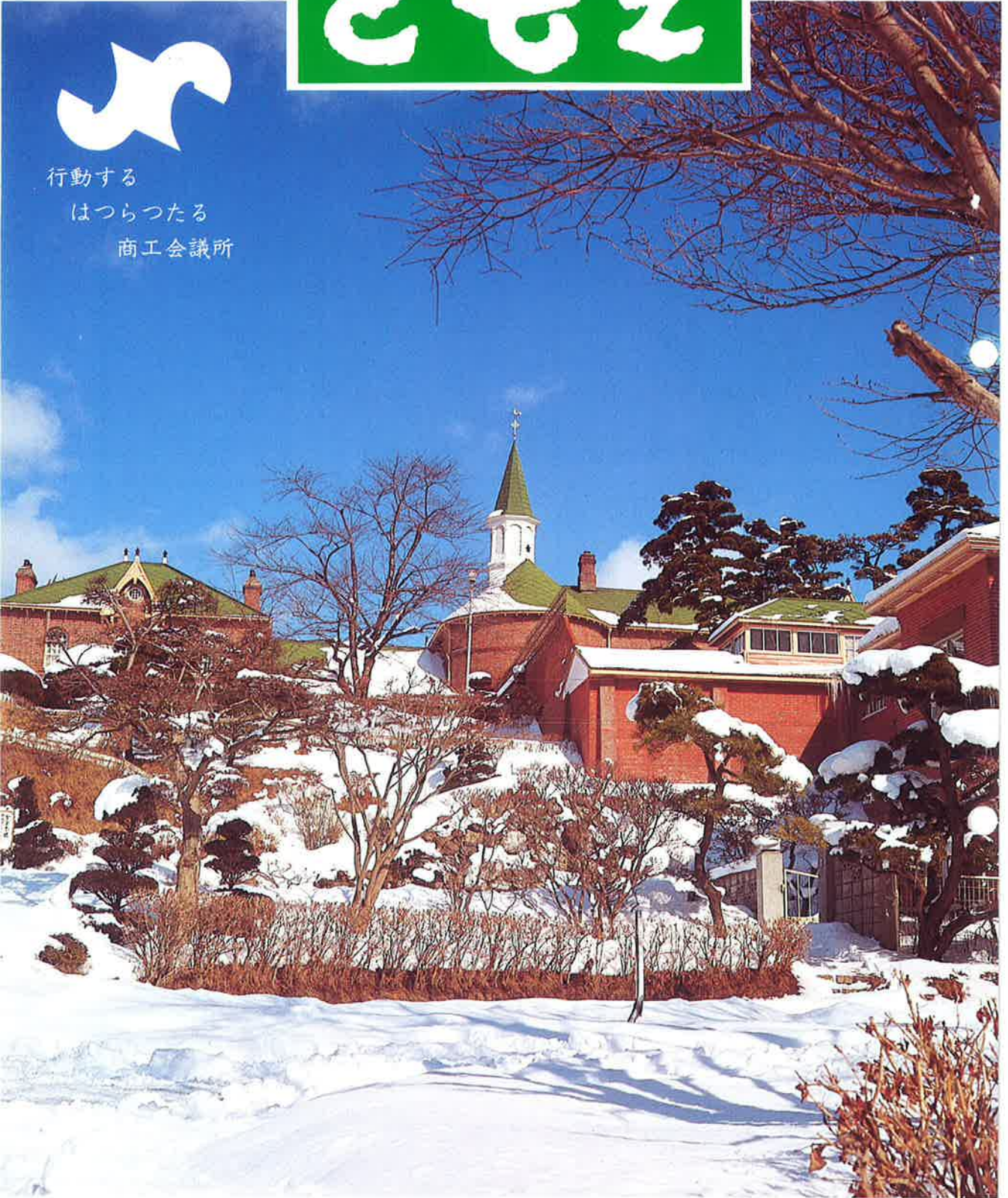


ともえ



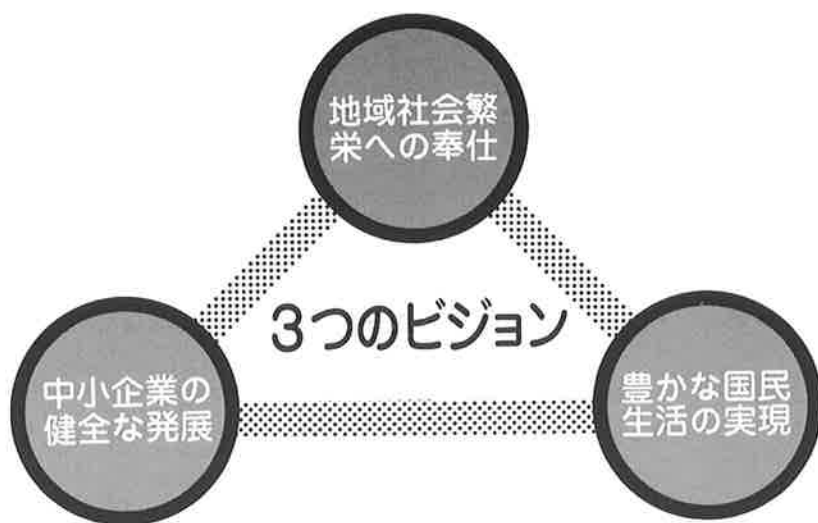
行動する
はつらつたる
商工会議所



No. 104

■ 函館商工会議所報 ■

1990 新年号



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ぼんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡七磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

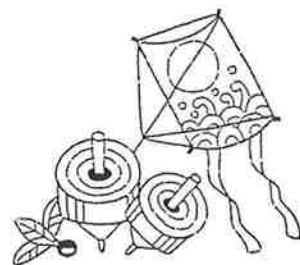
視点	1
新年を迎えて	2
年頭所感	3
会議所の動き	4
事務局日誌	6
誌上年賀	8
新春放談	16
十二支物語	22
成人おめでとう	23
地域の景気	24
調査レポート	28
寄稿文	30
アドバイスコナー	32
Q & A	34
共済推進コーナ	36
新会員ご紹介	37
情報コーナ	38
ご案内	40

◇表紙

トランプスチヌ修道院

明治三十一年（一八九八）、東フランスから派遣された八人の修道女によって開院した我が国最初の女子修道院。

建物全体の中で一番古いものは、大正二年（一九一三）に建築された向って右側の司祭館であり、本館は大正十四年と昭和十六年の二回の焼失に遭い、その後次々と改築・増築が重ねられ、現在に至っている。



●視点

新年明けましておめでとうございます。

昭和から平成へと元号が変わって早くも一年が経ちました。

平成元年は、ポスト青函博の年ということで、観光客の入込みや景気の動向が心配されておりましたが、これは全くの杞憂に終わりました。

昨年の観光入込客数は、青函博開催の六十三年度を越え、四百万人の大台に達することは確実であり、景気の動向も日本銀行函館支店では引き続き好調裡に推移していると発表

しており、ほぼ三か年にわたる好況が持続されています。

三月には、青函トンネル開業一周年を記念して青森・函館両市のツインシティとしての盟約が締結されましたが、その後両市の経済文化団体など十七の団体が同じくツイン協定を締結いたしました。そして六月には青函インタープロック交流圏計画も策定され、国も動き始めました。

現在、当地域は非常に明るいムードの中にありますが、しかし一方では、有効求人倍率が〇・六と全国平均の半分程度でありながら、一部企業には求人難が見られるなどのほか、異常としか言いようのない地価の高騰もあり、将来に向けての問題点も出てきています。

本年は、札幌・仙台に次ぐ北日本第三の経済文化圏を目指す青函圏にとって、具体的施策を一步推し進め、将来への明るい足掛りを築く大切な年でもありますので、あの青函博で見せた全市あげての活力を、さらに持続していくよう大いに頑張ろうではありませんか。

年頭所感



函館商工会議所
会頭 川田 寛

平成二年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昭和六十四年そして平成元年と元号の変った昨年は、世界的にも大きな変動が見られた年で、特に東欧諸国の改革には眼を見張るものがありました。

このような情勢の中でわが国の経済は、消費税の導入という波はありましたが、前年に引き続き設備投資や個人消費を中心とする内需の拡大とともに、企業収益家計所得も増加するなど、相互にこれらが関係しつつ拡大基調を辿っており、消費税導入による一時的な物価上昇や企業活動の好調による人材不足などの面は見られたものの、国際収支も均衡の方向にあり、総じて良好な状況が続いていることはご存知のとおりであります。

当地域におきましては、昭和六十二年、過去の慢性化した停滞傾向を脱し、活性化への道を歩み始め、そして、翌六十三年の青函博を期に景況は好調へと劇的に転換し今日においてもこの傾向はなお続き、一段と良好な状況を持しておりますが、一方において地価の上昇、求人難などが顕在化してまいりました。

このような中で、昨年三月十三日青函トンネル開業一周年を記念して、青森、函館両市がツインシティ協定を締結し、津軽海峡をはさんだ両市が文字通り一体となつて諸施策を進め、地域の振興、発展を図ることになりました。これには青函の両商工会議所を始め、経済関係五団体も同時に協定を締結いたしました。その後、経済団体のみならず文化、体育団体もツイン協定を締結するなど交流の輪は一段と拡がっております。

さらに六月には、青函インターブロック交流圏計画も策定され、ロマンと活力のある青函圏の形成を目指して、六つのシンボル事業と七つの交流プロジェクトを

推進することにより、第四次全国総合開発計画で示された札幌、仙台圏に次ぐ北日本第三の経済文化圏の形成を目指して、大きく羽ばたくことになりました。また、高速交通網の一環として重要な役目をもつ函館空港に、七月より日本航空が参入し、東京―函館間が二社運航となり、サービスの向上もはかられた結果、年間の総利用客数は、前年の百三十万人を大きく越える百五十万人台の見通しとなり、国内幹線空港としてその使命は益々重要となつてきており、安全運航のため三千米滑走路の完成等諸設備の整備を急がねばなりません。

一方函館港につきましても、ポートルネッサンス21計画が間もなく決定するなど新港湾計画策定に向けての諸準備が着々と進められており、二十一世紀に向けた函館港の整備も進行すること存じます。

さらに優秀な人材の地元定着にも大きな効果が期待されている企業の誘致は、テクノポリス指定以来函館圏として二十数社を数え、道立工業技術センターの活動と相俟つて、地元の技術水準の向上や新技術の開発に大きく貢献しています。また、情報技術者の養成、確保のため本所が中心となつて設立した函館ソフトウェア専門情報学院も、本年四月より専修学校函館ソフトウェア専門学校として、新しく学校法人野又学園のもとで出発できる見通しとなり、テクノポリス函館を支える情報技術者の養成に、学校教育法に基づく専修学校として、大きく貢献することが期待できることとなりました。

さて、昨年申上げました今後経済界として対処していかなければならない五つの地域課題、即ち

- 一 青函インターブロック交流圏計画の推進
- 二 高速交通体系の確立
- 三 観光資源の整備促進
- 四 テクノポリス函館計画と企業誘致の推進
- 五 人材の育成確保

につきましまして、本年も大きく変わる所はないのでありますが、平成八年に迎える本所創立百年を前にして、その記念事業について調査研究を進めるため、昨年十二月の臨時議員総会において設置が決定されました創立百年記念事業実行委員会を中心に、作業を進めたいと存じます。

今よりやく戦後四十年の長い期間を経て、函館は二十一世紀に向けて力強く歩み始めた所でありませう。全市一体となつて進んでいく中で、経済界に課せられてる使命には大きなものがあり、その使命達成のため本年も全力をもって対応してまいりたいと存じます。

希望に満ちた輝かしい平成二年の年頭に当り、私の所信の程を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感



日本商工会議所

会頭 石川 六郎

平成二年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

まず、年頭に当たり、日々ご活躍の会員の皆さまのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

さて、いよいよ一九九十年代を迎え、二十世紀も余すところわずかなりとなりました。この九十年代は、来るべき二十一世紀へ向けて、国際的にも国内的にも、平和で豊かな社会を築いて行くための助走期間といえるものであります。

昨年を振り返ってみますと、東西間にこれまで予想もされなかった急激な変化が生じ、緊張緩和が急速に進行した年でありました。昨年暮れの米ソ首脳会談は、戦後四十年以上にわたった冷戦構造の基本的な変化を確認する画期的な出来事であったということができます。

さらに欧州では、九十二年末を目指したEC統合が着実に進んでおり、また一向に改善しない貿易不均衡を背景に、日米関係は危機的な状況に陥るのではないかと憂慮されております。

このように急速に変化しつつある世界情勢の中で、わが国は、グローバルな観点に立って、いかにして世界各国と共存共栄の道を探って行くべきかについて、官民挙げての真剣な対応が求められております。これまでわが国は、自由貿易体制の恩恵を最大限に享受し、経済大国へと発展してまいりましたが、世界経済が一層グローバル化していく

中で、わが国独特の経済システムが閉鎖的であり、自由貿易の原則に反すると各国から指摘されております。資源小国であるわが国は、今後世界各国と協調し、世界経済のフレームの中で発展を遂げていく以外にとるべき道はありません。

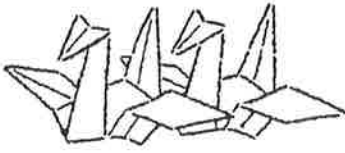
そのため、流通の合理化、商取引慣行の近代化、規制の緩和などを積極的に進めて世界に受け入れられる経済システムを構築し、自由貿易体制の維持・推進に積極的な役割を果たして行かなければなりません。これまでわが国が受けてきた恩恵を世界に均てんさせ、世界が全体として均衡ある発展を享受しうるものとなるよう行動することが、わが国の国際的責務であると考えます。

同時に、世界でも有数のその経済力が、わが国の地域社会、国民生活に十分に反映されているとは申せません。今こそ社会資本の整備、土地対策、住宅対策などを積極的に進め、大きな課題の一つである東京一極集中による地域不均衡の是正や国民生活の物質的・精神的向上を図り、生活文化大国を目指すことが肝要であります。

また、昨年四月にはわが国初めての消費税が導入されました。将来の高齢化社会の到来や国際化の進展を考えますと、安定した財源の確保を可能にし、かつ国際性を有する税体系へ移行することは避けて通れない課題であります。いま消費税のあり方が問われておりますが、消費税の見直しを含む税体系全般について、国民的議論を徹底的に行い、国民各層の理解が得られるような税体系を確立することが不可欠であります。もとより、将来を展望した行財政の改革の必要性は申すまでもありません。

以上、所懐の一端を申し述べましたが、私ども商工会議所は、国内のみならず全世界に組織された、まさにグローバルな団体であり、そのネットワークを生かし、相携えて世界経済の調和ある発展に尽くす立場にあると存じます。日本商工会議所といたしましては、対外的には、二国間、多国間の民間経済交流の推進、国内では、中小企業の振興、地域社会の活性化などに従来にもまして積極的な役割を果たしてまいり所存であります。ご関係の皆さまの一層のご支援とご協力をお願いするとともに、ご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、私のごあいさつといたします。

会 議 所 の 動 き



創立百年記念事業実行委員会設置等を審議 第4回臨時議員総会開催

本商工会議所第三回臨時議員総会は、去る十二月六日函館ハーバービューホテルで開催され、多数の議員が出席しました。

議事に先立ち、本所議員の慶弔事について報告された後、川田会頭から我が国の景気は依然好況を示しており、現在の諸条件が大きく変らない限り来年も持続するであろう。勿論、当地域においても

総じて同じことが云えると思う。

昨年においては、観光入込客数も四百万人突破が見込まれ、函館空港乗降客数も百五十万人は確実であり、またJR貨物、フェリー輸送も増え、青函トンネル開通を契機に人と物の流れは増大し、地域経済は着実に伸展してきている。

また、テクノポリスをはじめ懸案のプロジェクトも確実に推進し、今後の見通しには誠に明るいものが期待できるとの挨拶があり、そのあと議事に入りました。

会議では、先ず八案件を報告した後、「本所創立百年記念事業実行委員会の設置」を含む二案件について審議し、夫々原案通り承認決定しました。

主な内容は次の通りです。

(報告事項)

◎観光サービス部会

函館市議会市政クラブとの観光懇談会を開催、国際観光都市宣言にふさわしい施設の充実化及び市

民のホスピタリティ意識の向上等について意見の一致を見ました。

◎工業部会、テクノポリス委員会合同会議

創立後五年経過している(財)テクノポリス函館技術振興協会は、地域産業の技術水準の向上に大きく寄与してきているが、財団の運営基盤をなす基金のうち、目標に達していない民間負担分の拠出及び道立工業技術センターへの民間からの研究員派遣について、早急に目標を達成するなど経済界も協力して行くことを申し合わせました。

(附議事項)

一、本所創立百年記念事業実行委員会設置について

本所は平成八年に創立百年を迎えますが、その期に実施されるであろう諸事業を検討する為、正副会頭、各部長、各委員長の十七名をもって構成する実行委員会を設置することが決定いたしました。

二、本所監事一名補充選任の件

欠員となっていた監事一名は、前任者と同じ日立北海セミコンダクタ(株)代表取締役鈴木茂氏が選任されました。

三カ年交流事業計画を決定 青函ツインシティ推進協開催

昨年三月十三日、函館市と青森市はツインシティとして盟約を締結しました。

そして文化・スポーツ・観光・経済等の具体的な交流事業計画を協議するため設立された「青森・函館ツインシティ推進協議会」が、昨年十一月二十七日青森市で開催され、平成二年度から三ヶ年の交流事業計画を決定いたしました。

当日は、佐々木青森市長と木戸浦函館市長、本所の平野専務理事をはじめとして両市の経済・文化・スポーツ・教育界の代表者など二十八人が出席しました。

計画では、経済・文化・スポーツ・広域観光など八分野で、総事業数は八十八件にのぼり、その内訳は本年度からの継続四十件、新規事業二十一件、そして従来から各団体で実施してきた事業二十七件となっており、毎年度それぞれ交流状況や市民ニーズに対応し

て見直しをするいわゆるローリング方式を採用することになっております。

- ① 新規事業の主なものは、① ツインシティのPRビデオ共同制作、② 教育研究機関やツインスクールによる交流事業、③ 芸術・美術展等の開催、④ 青函交流日本泳法大会、⑤ 少年硬式野球交流試合、⑥ 市民大レクリエーション大会開催、⑦ 新青函広域観光圏形成確立促進

高速道や新幹線等での中央陳情盛んに 東京・函館間出発時間繰り下げも

全国土の約二十二％という広大な面積を有し、都市間距離が長い本道にとって、これら各都市を結ぶ高速交通網の整備は、何よりも重要でありまた急ぐ必要がありま

す。とりわけ高速自動車道は、計画区間全長に占める供用区間の割合

事業、⑧ 漁業関係者交流事業、⑨ 青函サミットの開催、⑩ 青函ブランドの創出、⑪ 青函両市調査研究委託事業などであり、このうち青函サミットの開催と青函ブランドの創出は、青森・函館両商工会議所が事業主体となって初年度の平成二年度に本格的な検討に入る予定です。

また、同計画案には青函両市合同で、国をはじめとする関係機関への陳情要望事項として、東北新幹線（盛岡―青森間）の早期完成と北海道新幹線（青森―函館間）の早期着工や津軽海峡線複線化の早期実現なども含まれております。

立ち遅れています。

このような状況を踏まえ、全道の地方自治体と経済界で構成する北海道開発幹線自動車道建設促進期成会では、昨年十二月二十二日、建設省や日本道路公団に整備促進方を強く要望いたしました。

また、同日は全国高速交通ネットワークの一環を形成し、国土の均衡ある発展に大きな役割を果たす整備新幹線の早期着工促進を訴える総決起大会も東京都で開催され、北海道新幹線建設促進道南地方期成会会長である本所川田会頭も参加いたしました。

一方、本商工会議所では昨年十二月十九日、全日空と日本航空の両本社に対し、東京・函館間航空路線の最終便について、当地域の利用者の利便性と地域経済の振興のために出発時間を繰り下げよう陳情いたしました。

が、全国の三十八％に比べわずかに十六％と本州に比較して著しく

去る十一月二十八日に開かれた北海道商工会議所連合会第百十回臨時会員総会（於札幌市）に

川田会頭 道商連副会頭に再選

合会副会頭に再選されました。任期は平成三年十一月末日までです。

おいて本所川田会頭が同連

事務局日誌 11月

***常議員会**

20(月) 第6回常議員会

***部会・委員会**

- 1(木) 総務委員会
- 2(木) 工業部会・テクノポリス委員会合同会議
- 27(月) 運輸港湾部会
- 29(火) 高度情報化委員会
 ♪ 青函圏特別委員会正副委員長会議
- 30(木) 文教委員会
 ♪ 函館・青森両青函圏特別委員会合同打合せ会議

***正副会頭会議**

- 6(月) 第30回正副会頭会議
- 24(金) 第31回正副会頭会議

***会議(道商連)**

- 8(木)~9(木) 全道商工会議所補助員・記帳専任職員・記帳指導職員研修会
- 18(土) 第14回運営委員会
- 22(木) 経営改善普及事業推進研究会北海道ブロックワーキンググループ委員会
- 28(火) 第102回常議員会
 ♪ 第101臨時会員総会

***審査会**

- 15(木) 小企業等経営改善資金の審査会
- 29(木) ♪ ♪

***諸会議**

- 1(木) 出羽の庄内鶴岡市観光物産展開催に伴う観光懇談会
- 6(月) 「活力と潤いのある函館を築く会」設立総会
- 7(火) 第2回函館市まちづくり政策懇談会
 ♪ 古川北海道担当特命金権大使(駐道大使)との懇談会
 ♪ 函館税務署「税を知る週間」懇談会
- 8(木) 自由民主党函館支部移動政調会
 ♪ 平成元年度策1回はこでて冬のイベント実行委員会
 ♪ 函館税務署と経営指導員との連絡協議会
- 9(木) 全日空(株)若狭会長との懇談会
 ♪ 婦人会例会
- 10(金) 函館警察官友の会「警察行政懇談会」
 ♪ 函館都心商店街振興組合第11回近代化推進委員会
- 11(土) 函館港利用促進協議会幹事会
- 13(月) (財)港湾空間高度化センター函館港再開発調査委員会
 ♪ 北海道東北開発公庫函館事務所情報交換会
 ♪ 商業近代化地域計画策定事業(ローリング事業)ヒアリング
- 14(火) 函館圏企業誘致推進協議会企業立地説明会
 ♪ 青函インターブロック交流圏構想推進協議会推進委員会
 ♪ 道商工労働観光部「地域金融懇談会」
- 16(木) 青森・函館ツインシティ推進協議会第3回部会
- 17(金) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会
 ♪ 北海道教育大学函館分校国際交流事業基金後援会設立総会・懇親会
- 18(土) 松本函館市議会議長との懇談
- 21(火) 道商工労働観光部「地場企業・地場製品活用推進会議」
- 24(金) (財)テクノポリス函館技術振興協会平成元年度第2回理事會
- 27(月) 新都心五稜郭協議会秋期例会・懇親会
 ♪ 第3回青森・函館ツインシティ推進協議会
 ♪ 大型店問題のための三者会議
- 28(火) 函館市大型店舗出店対策協議会
 ♪ 議員会役員会
- 29(木) 相馬函館どつく(株)副社長との懇談

***陳情・要望**

- 8(木) 北海道縦貫自動車道(七飯~長万部間)建設促進に関する

陳情並びにJR津軽海峡線青森~函館間の全線複線化の促進と快速列車運転時間の短縮について(自民党移動政調会にて)

- 15(木) 北海道縦貫自動車(函館~虻田間)の建設に関する陳情
- 20(月) 中小企業金融公庫函館出張所の支店昇格に関する陳情

***講習・催物**

- 2(木) 複式簿記講習会
 ♪ ~7(火) 第2回出羽の庄内鶴岡市観光物産展
- 7(火) 函館経営者協会セミナー「女子社員能力開発講座」
 ♪ 複式簿記講習会
- 8(木) 経営相談
- 10(金) 複式簿記講習会・終了式
- 10(金)~14(火) 函館市民芸術祭平成元年度「第7回ポスターデザイン公募展」
- 15(木) 発明相談
- 16(木) 経営セミナー「成長企業に学ぶ経営の着眼点」
- 20(月) 法人の年末調整説明会
- 22(木) 経営安定特別セミナー「債権回収の実務と手形・小切手の法律知識」
- 23(木)~28(火) 祝・青函ツインシティ提携「あもり・はこでて特産品まつり」
- 24(金) 函館市小学校長会 研修会
 ♪ 法律相談

***検定試験**

- 19(日) 第71回簿記検定試験

***相談・診断**

金融	172	税務	49	経理	29	経営	277
労働	8	取引	0	その他	0	計	535

***貸室本館** 34 別館 6

***文書受信** 252 発信 15

***慶弔・その他**

- 1(木) 日産サニー函館販売(株)、(株)ユニークショップつしま提携ショッピングゾーン「NISSAN JOYPLEX」オープン披露レセプション
- 3(金) 函館市北方民族資料・石川琢木資料館開館記念式典
- 4(土) 函館機械金属造船工業協同組合連合会永年勤続優良従業員表彰式
- 6(月) 第一生命保険相互会社ビル「フィットネス330函館」地鎮祭
 ♪ 函館家具工業協同組合永年勤続優良従業員表彰式
 ♪ コミュニティ・マート構想第三期街路整備事業東街区完成式・祝賀会
- 7(火) 北海道財務局新居理財部長表敬訪問
 ♪ 平成元年度市営函館競輪終了打上げ会
- 9(木) 柏原全日空(株)常務取締役営業本部長表敬訪問
- 13(月) 平成元年度納税表彰式
- 14(火) (社)函館地方法人会財政講演会(札幌国税局長)・懇親会
- 16(木) 大塚北海道財務局長表敬訪問
 ♪ 函館地方酒類業懇談会「きき酒会」
- 17(金) シンガポール政府観光局リ-局長の歓迎夕食会
- 18(土) マーライオン像竣工記念式典セレモニー並びに祝賀レセプション
- 21(火) 二文字屋製菓(株)テナントビル「スターパレス」竣工披露パーティー
- 22(木) (株)函館シーボートプラザ「ピアマーケットテナント募集説明会」
- 23(木) 阿部文男国務大臣(道・沖繩開発庁長官) 就任祝賀会
- 24(金) 第31回函館商工会議所優良商工従業員表彰式
 ♪ (社)函館競馬場馬主協会平成元年度社会福祉財助成金目録贈呈式
- 28(火) 税関117周年記念式典・祝賀会
- 30(木) 函館市技能功労者表彰式並びに函館市中小企業永年勤続者表彰式



事務局日誌

12月

*** 総 会**

6(水) 第4回臨時議員総会

*** 部 会**

20(水) 観光サービス部会・地域開発委員会合同会議

22(金) 商業部会正副委員長会議

*** 正副会頭会議**

6(水) 第32回正副会頭会議

27(水) 第33回正副会頭会議

*** 会 議 (日商)**

21(水) 第379回常議員会

*** 会 議 (道商連)**

1(金)~2(日) 北海道ブロック中小企業相談所長会議

8(金)~9(日) 全道商工会議所総務・経理担当者研修会

*** 審査会**

14(水) 小企業等経営改善資金の審査会

*** 諸 会 議**

1(金) (社)北海道開発技術センター「道南地方道路交通環境整備懇談会」

〃 函館財務事務所第3回地域経済研究会

4(月) 第6回(仮称)湯の川マリニパーク建設立検計準備会

6(水) 日本商工連盟函館地区連盟総会

〃 函館駅前再開発プラン策定促進懇談会

〃 議員会定時総会・懇親パーティ

〃 所報「ともえ」No.104(新年号)新春座談会

7(水) 函館港まつり万人踊りパレード第1回検討委員会

〃 青森商工会議所一行との「ウォーターフロント視察懇談会」

〃 盛岡商工会議所一行との「商調協視察懇談会」

〃 函館財売士協合理事会

8(金) 函館公共職業安定所「函館地域雇用協議会」

〃 第6回湯の川温泉街活性化推進懇談会

〃 函館繊維商組合役員会

〃 北海道信用保証協会との懇談会

〃 婦人会役員会

〃 所報「ともえ」No.104(新年号)編集会議

14(水) 北海道新幹線建設促進期成会と青森県新幹線建設促進期成会との懇談会

〃 国民金融公庫審査会懇談会

〃 函館地域CFRP地場産業促進委員会

15(金) 函館経営者協会平成元年度第4回幹事会

18(月) 函館公共職業安定所「国鉄清算事業団職員再就職促進青

函支部管内地方連絡会議」

〃 函館市金融課との打合せ会議

20(水) 箱館五稜郭祭実行委員会

〃 巴太鼓保存会臨時総会

〃 平成元年度第3回小規模企業振興委員連絡会議

21(水) 四共済連絡会議

22(金) 国立函館大学誘致促進期成会第2回学部検討委員会

*** 陳情・要望**

22(金) 北海道高規格幹線道路網の整備促進に関する陳情

〃 整備新幹線建設促進総決起大会開催に伴う中央陳情

*** 講習・催物**

11月 青色申告者年末調整決算説明会

12(水) 〃

13(水) 〃

13(水) 経営相談

15(金) 青色申告者年末調整決算説明会

19(水) 〃

20(水) 発明相談

22(金) 法律相談

*** 検定・試験**

3(日) 第10回3級ワープロ検定試験

*** 刊 行 物**

1(金) 所報「ともえ」No.103(11月号)発行

*** 相談・診断 (12月26日現在)**

金融 109 税務 152 経理 14 経営 179

労働 5 取引 1 その他 0 計 460

*** 貸 室**

本館 19 別館 5

*** 文 書**

(12月26日現在)

受信 156 発信 12

*** 慶弔・その他**

2(日) 1989年度(社)函館青年会議所会員大会式典・懇親会

4(日) 五稜郭タワー(株)創業25周年記念式典及び観光パトロール車目録贈呈式

7(水) 日本エアシステム桑田取締役来訪

8(金) 函館ソフトウェア専門学院の移管に伴う通産省への説明

13(水) 河村函館大学新学長就任挨拶

14(水) 函館警察官友の会歳末警戒職員懇問

16(土) 函館館シーボートプラザピアマーケット建設安全祈願

〃 函館管工事業協同組合と青森市管工事工業協同組合とのツイン提携調印式

〃 函館日ソ親善協会「日ソ経済交流と函館の課題を語る会」並びに在日ソ通商代表部ダヴィドフ副主席歓迎夕食会

17(日) フィンランド・サンタ使節団との懇談会

22(金) 整備新幹線建設促進総決起大会(東京)

〃 栗林商船(株)発注、函館どっく(株)製造「ロールオン・ロールオフ貨物船進水式」

28(水) 本所仕事納め

社会福祉法人会計・学校法人会計・公益法人会計・市町村会計・建設業会計
一般企業会計のOA・事務改善・財務指導をトータルリングする

ミロク・OA・帳票システム函館地区代理店

株式会社 **システム** 経 理

代表取締役 矢野 賀士

〒040 函館市新川町9番12号 電話 23-4863番

北海道旅客鉄道(株)
取締役函館支社長

青山 繁 樹

若松町二二一三

函館商工信用組合
理事長

荒井 孝 一

千歳町九一六

(株)近藤商会
代表取締役社長

池見 厚 一

西桔梗町五八九

日本放送協会函館放送局
局長

伊藤 政 美

千歳町一三一

北海道瓦斯(株)
専務取締役函館支社長

安藤 勝 見

万代町八一

函館米穀(株)
代表取締役

石上 伊佐男

万代町二〇一八

富国生命保険相互会社函館支社
支社長

稲田 亜 夫

大手町二一一

ベンケイ綿(株)
代表取締役

飯田 貢 一

昭和四一四一七

布目水産食品冷蔵(株)
代表取締役社長

石黒 義 男

弁天町二七一〇

朝日生命保険相互会社函館支社
支社長

今吉 英 夫

大手町二七一六

商工組合中央金庫函館支店
支店長

飯田 康 雄

若松町三一六

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務

泉 清 治

高松町五一 (函館空港内)

住友生命保険相互会社函館支社
支社長

伊与部 武

本町七一八
(道銀・住友生命ビル)





丸卓不動産(有)
代表取締役

遠藤 烈子

宝来町二二一五

(株)棒二森屋
代表取締役社長

荻野 清

若松町一七一三

北海興業(株)
取締役相談役

加藤 隆三

中島町一四一六

大一興業(株)
代表取締役社長

大越 勝己

昭和二一四三二五〇

小熊水産倉庫(株)
代表取締役社長

小熊 勝夫

大町二二一四

国民金融公庫函館支店
支店長

門脇 俊憲

豊川町二〇一九

(株)ティーオー小笠原
代表取締役社長

小笠原 金悦

港町三一八一五

(株)北海道拓殖銀行函館支店
取締役支店長

加藤 賢洋

若松町一五七七一一

(株)湯の川プリンスホテル
代表取締役社長

河内 孝夫

湯川町一一二二五

中小企業金融公庫函館出張所
所長

遠藤 元之

松風町二二二二三三

(株)ティーオースイミングスクール
代表取締役社長

小笠原 孝

本通三一八一二

加藤組土建(株)
代表取締役社長

加藤 健太郎

千歳町三二二

日本化学飼料(株)
代表取締役社長

川田 寛

浅野町三二六



函館トヨベツト(株)
代表取締役

河村 澤治

美原二一四一

(株)北村船具店
代表取締役社長

北村 實

末広町二二一六

東一函館青果(株)
代表取締役社長

木戸 浦辰夫

西桔梗町五八九一三五

函市函館魚市場(株)
代表取締役社長

木村 勝太郎

豊川町二七一六

野村證券(株)函館支店
支店長

久木 田伸

若松町七一五

千代田生命保険相互会社函館支社
支社長

窪田 久信

大手町二一七

真鉄工業(株)
代表取締役社長

倉崎 六利

浅野町四一八

(株)高木組
代表取締役社長

黒田 憲治

東雲町一九一三

小島商事(株)
代表取締役社長

小島 悦郎

桔梗町二七二二

(株)函館ハービーニューホテル
代表取締役専務総支配人

近藤 章二

若松町二四一〇

共栄運輸(株)
代表取締役社長

斎藤 鉄男

海岸町二二一五

日本通運(株)函館支店
支店長

斉藤 伸哉

若松町一四一〇

みかど(株)
取締役

佐藤 悦郎

若松町二二一三



渡島信用金庫
理事長

佐野正名

茅部郡森町字御幸町二二五

三井生命保険相互会社函館支社
支社長

島貫徹彦

梁川町五一八

(株)カネマル
代表取締役会長

下郡山信一

西桔梗町五八九―四六

(株)谷鈴木商店
会長

白戸利栄

本町二六一―一七

(株)菅製作所
代表取締役

菅鉄夫

吉川町三一四―二

(株)菅原組
代表取締役

菅原岩夫

赤川町一九九―一七

日立北海セミコンダクタ(株)
代表取締役

鈴木茂

亀田郡七飯町字中島一四五

美鈴商事(株)
取締役社長

鈴木武二

上湯川町一一一

日本生命保険相互会社函館支社
支社長

鈴木由介

大手町二二―一八

函館どつく(株)
代表取締役副社長

相馬宏二

弁天町二〇―三

ダイカ(株)函館支店
相談役

大総一郎

西桔梗町五八九―四一

北海道水産製造(株)
代表取締役社長

高野洋蔵

豊川町二七―一五

(株)北海道銀行函館支店
取締役支店長

高橋和彦

本町七一―一八

第一生命保險相互会社函館支社
支社長

高橋 宣雄

本町六一七

(株)棒上武井漁業
代表取締役社長

武井 忠徳

石崎町三三七

辻木材(株)
取締役社長

辻 才次郎

上磯郡上磯町七重浜八一九一二

丸卜豊山食品(株)
代表取締役

豊山 秋央

宮前町六一五

北海道乳業(株)
取締役社長

田島 久吉

昭和三六十六

函東工業(株)
代表取締役

津村 英輔

浅野町三一一

(株)長門出版社
代表取締役社長

長門 一也

日乃出町二一一三

第二物産(株)
代表取締役社長

田中 仁

西栲梗町五八九一〇七

(株)ニチ口本社函館事務所
所長

敦沢 順吾

大手町五一〇

(株)若松屋衣裳店
代表取締役社長

中野 亮

亀田町二一七

明治生命保險相互会社函館支社
支社長

塚田 正明

若松町二一五

(株)弘告社
代表取締役

外崎 舜子

東雲町一三十八

五稜郭タワー(株)
専務取締役

中野 豊

五稜郭町四三一九

